

計 画 書

鹿児島都市計画道路の変更(鹿児島市決定)

都市計画道路中3・2・7号西駅本通線を3・2・7号鹿児島中央駅本通線に名称を改め、次のように変更する。

種別	名 称		位 置			区 域	構 造				備考
	番号	路線名	起 点	終 点	主 な 経 過 地	延 長	構 造 形 式	車 線 の 数	幅 員	地表式の区間における 鉄道等との交差の構造	
幹線街路	3・2・7	鹿児島中央駅 本通線	鹿児島市 中央町	鹿児島市 新屋敷町	鹿児島市 上之園町	約 870m	地表式	6車線	36m	幹線街路と平面交差1箇所	
	車線の数の内訳		6車線			約 870m					
	なお、鹿児島市中央町地内に鹿児島中央駅東口駅前広場を設ける。										面積約 30,900㎡

理 由 書

九州新幹線鹿児島ルートの開通により、鹿児島中央駅周辺は、鹿児島の陸の玄関としての役割が増しており、駅前広場の整備等により、交通結節機能の向上が図られているが、交通量が多く、時折、交通渋滞が発生するなど、さらなる対策が求められている。

『鹿児島都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針』において、「九州新幹線開通による「かごしまの陸の玄関」としての交通結節機能向上と、南国かごしまをアピールする交流空間の形成を進め」ることとしており、また、『かごしま都市マスタープラン』において、「鹿児島中央駅総合交通ターミナルの利便性の向上に努めるとともに、周辺地区の再開発などにより南国かごしまの風土、文化を感じられる交流空間を形成する。」こととしており、現在、東口駅前広場に面した中央町19番街区及び20番街区において、土地の合理的かつ健全な高度利用を図り、都市環境の向上と都市機能の更新に資するため、また、活気ある地区の形成などのため、市街地再開発事業を進めているところである。

今回、東口駅前広場に面した中央町19番街区及び20番街区における市街地再開発事業にあわせて、駅前広場側の道路を拡幅することで、駅前広場の機能向上を図るため、本案のとおり、駅前広場の区域変更を行い、また、名称についても現在の駅名にあわせて変更をしようとするものである。

鹿児島都市計画道路変更対照表

(変更前)

西駅本通線

区分	種別	名称		位置			区域	構造				備考
		番号	路線名	起点	終点	主な経過地		延長	構造型式	車線の数	幅員	
前	幹線街路	3・2・7	西駅本通線	鹿児島市武町	鹿児島市新屋敷町	鹿児島市上之園町	約870m	-	-	36m	-	
		車線の数の内訳		6車線			約870m					
		なお、起点附近に西鹿児島駅東口駅前広場を設ける。										面積約 30,800㎡

(変更後)

鹿児島中央駅本通線

区分	種別	名称		位置			区域	構造				備考
		番号	路線名	起点	終点	主な経過地		延長	構造型式	車線の数	幅員	
後	幹線街路	3・2・7	鹿児島中央駅本通線	鹿児島市中央町	鹿児島市新屋敷町	鹿児島市上之園町	約870m	地表式	6車線	36m	幹線街路と平面交差1箇所	
		車線の数の内訳		6車線			約870m					
		なお、鹿児島市中央町地内に鹿児島中央駅東口駅前広場を設ける。										面積約 30,900㎡